



2025年度ヘルケアフォーラム
2025年7月2日

地域医療連携推進法人 「上十三まるごとネット」の活動報告

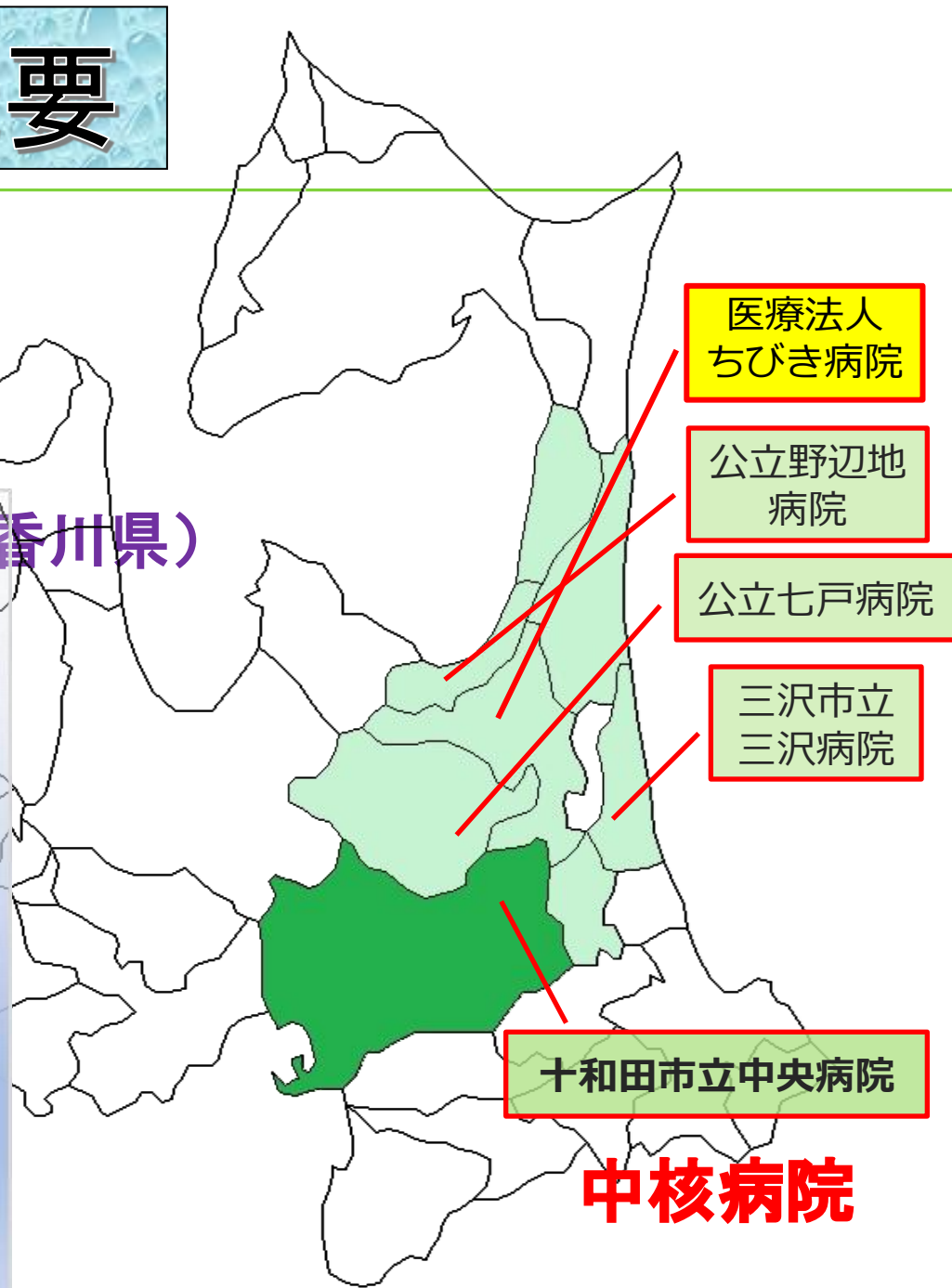
上十三まるごとネット 代表理事
十和田市立中央病院 事業管理者
丹野弘晃

上十三二次医療圏の概要

- × 1 区域名 上十三地域
- × 2 構成市町村 2市5町1村

十和田市、三沢市、七戸町、東北町
六戸町、野辺地町、横浜町、六ヶ所村

× 3 面積 2,053.9km² (>大阪府>香川県)
× 4 人口 約10万人
人口10万対医師数(2022年)



当院の概要



上十三二次医療圏中核病院

2024年度実績

病床利用率：73.7%

平均在院日数：13.0日

救急患者数：7353件

(救急車：2768件　その他：4585件)

手術件数：4024件

(室内：2008件　室外：2016件)

全身麻酔件数：831件

病床数：323床(369床-46床:2025年1月～)
(7対1:269床,精神:50床, 感染:4床)

職員数：749名 (正410+会160+委179)
(医師数：常勤46+研修医等17名=63名：B水準)

診療科目：19科

DPC標準・二次救急・地域がん診療病院

地域医療支援病院(2019年10月)

在宅専門附属とわだ診療所(2019年10月)

地域医療連携推進法人

上十三まるごとネット(2021年3月)

地域医療連携推進法人制度

- ・ 2017年4月制度施行→2025年4月1日時点で**55法人**
- ・ 医療は**社会的共通資本**→「**競争**から**協調**へ」
- ・ 医療機関相互間の**機能の分担**および業務の**連携**を推進し、地域医療構想を達成するための**1つの選択肢**
- ・ 地域において**質が高く効率的**な医療提供体制を確保

地域医療連携推進法人 「上十三まるごとネット」

- ・ 青森県内で**唯一**でしたが二法人となる
- ・ 2021年3月 **当院**と**三沢**市立三沢病院で立ち上げ
- ・ 2023年5月から公立**七戸**病院が加わる
- ・ 2024年5月から公立**野辺地**病院が加わる
- ・ 2024年10月から医療法人社団良風会**ちびき**病院が加わる

約850床

連携以上、統合未満

地域医療連携推進法人の活用

1. 人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化等により、持続可能な地域医療体制維持への強い危機感が立ち上げの原動力
2. 参加施設が重要事項を決定する場合には、法人の中で意見を述べ合うことができる→経営レベルでの連携が可能→「連携以上、統合未満」
3. メリットとしては、医薬品・医療材料・消耗品等の共同購入、地域フォーミュラーの導入、講演会の共同開催、人財派遣、人財育成、災害時のサポートなど
4. デメリットとしては、積立金と年会費がある

定款第5条：医療連携推進業務

1. 患者の相互診療体制の構築
2. 薬品の地域フォーミュラーの展開
3. 医療機器の有効的な運用
4. 災害時における病院間の連携協力の促進
5. 上十三地域におけるがん対策の推進
6. 職員の人財交流
7. 職員の資質向上に関する共同研修および人財育成

(2024年10月30日追加)

第6条：介護事業・地域包括ケアの推進

コロナを
経験して

院内感染の有無と感染リスク指数

$$\text{感染リスク指数} = P \times (15 + B \times 11.25) \div N_s$$

状況	高リスク期間	低リスク期間
院内感染	有	無
看護配置実人数 : N_s	20人	24人
平均入院患者数/日 : P	9.0人	10.1人
平均B得点/日 : B	6.03点	4.70点
感染リスク指数 : R	37.3	28.7

コロナに地域として

地域医療連携推進法人 「上十三まるごとネット」の活用

- 救急診療と新興感染症診療を分けるのは**非現実的**
- 緊密な連携を基盤にして**得意分野**を受け持つ
- 法人として専門人財の**交流と育成**
- 感染リスク指数を共有し医療機能を維持（**BCP**）

十和田市立中央病院総合診療専門研修プログラム

【2015年に立ち上げて、新専門医制度開始に伴い2017年に申請し2018年より研修開始】

本プログラムの核となる思い

上十三二次医療圏の自治体医療施設が中心となって総合診療医を育てたい！

具体的には

- ①総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心：6カ月）：七戸・野辺地・六ヶ所等
- ②総合診療専門研修Ⅱ（病棟診療・救急診療中心：12カ月）：当院・三戸・東京北医療センター等
- ③内科（6カ月：当院・県病）
- ④小児科（3カ月：当院・三沢）
- ⑤救急科（3カ月：当院・八戸・県病）

の5つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修

総合診療専攻医の状況

[illegible]

活動実績：管理部門

年度	活動項目	主な内容
2021年度	理事会・社員総会1回	事業計画・予算
	管理部門ウェブ会議7回	診療体制の構築（コロナ対応）
	共同研修4回	経営・地域フォーミュラー
2022年度	理事会・社員総会1回	事業報告・計画、決算・予算
	管理部門ウェブ会議12回	診療連携等（コロナ対応）
	共同研修5回	漢方・経営・地域フォーミュラー
2023年度	理事会・社員総会2回	七戸病院の参加・定款変更等
	管理部門ウェブ会議12回	働き方改革・病床稼働率 経営強化プラン等
	相互支援2回	看護師の相互交流・派遣協定締結
2024年度	看護師の人財交流開始	十和田（1名）⇔三沢（1名） 七戸（5名）⇒十和田
	医師派遣	十和田（総合診療医1名）⇒七戸
	理事会・社員総会2回	野辺地病院・ちびき病院の参加等
	管理部門ウェブ会議12回	令和5年度決算・十和田消化器内科等
	視察4回	県議会委員会・大館地域・釜石地域・長浜市議会
	共同研修4回	漢方・看護局・自治体病院共済会

活動実績：事務部門

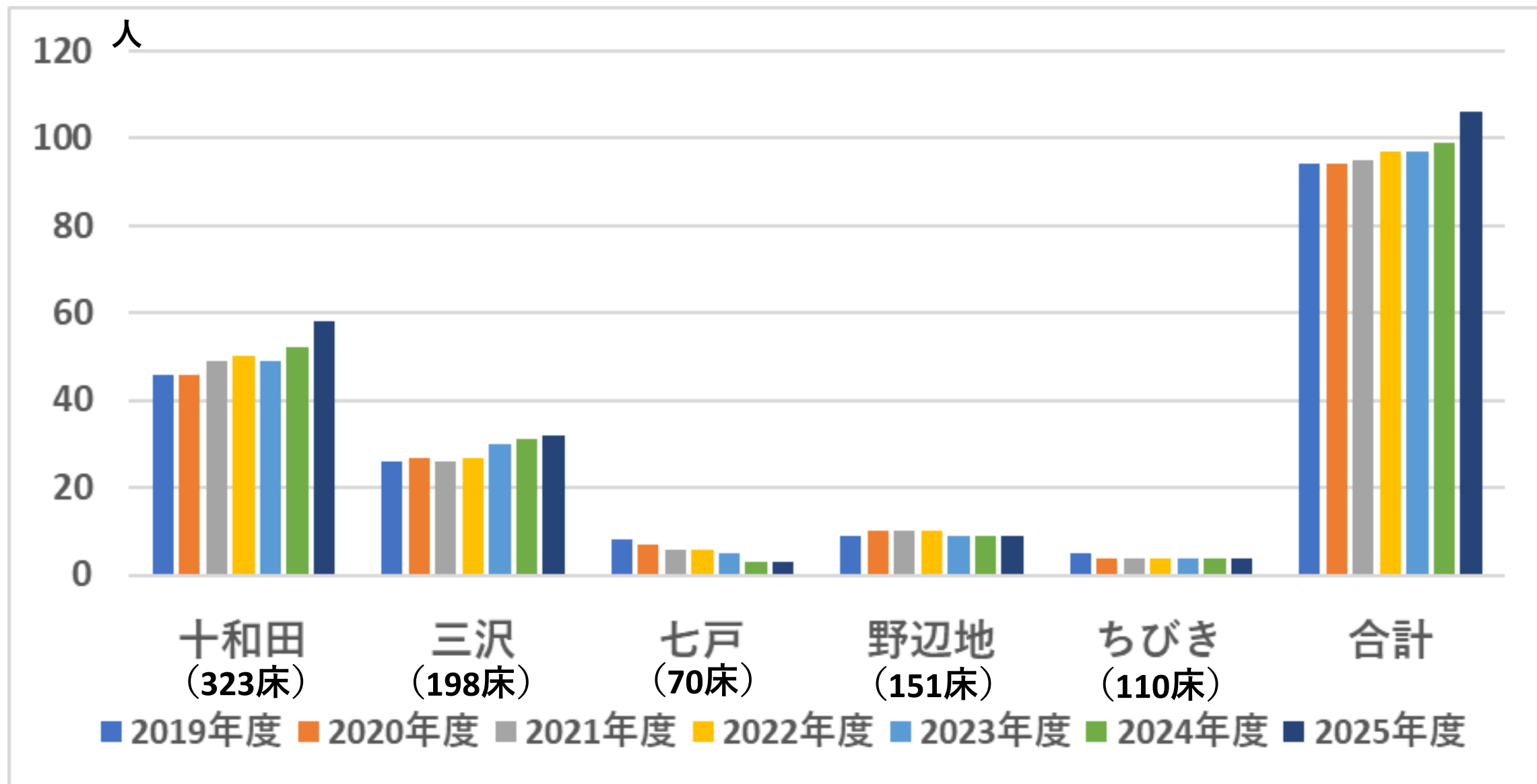
	活動項目	内容
2021年度	事務担当協議会 6 回	医事業務 医療材料 人財交流等
2022年度	事務担当協議会4回	共同購入 アンケート実施
2023年度	事務担当協議会6回	共同購入
	診療情報管理1回	協力連携
2024年度	事務担当協議会5回	共同購入（薬価差益約91万円）
	診療情報管理1回	協力連携

活動実績：看護部門

- 第1回上十三まるごとネット合同研修会：2024年3月4日
十和田・三沢・七戸：看護局の情報共有、意見交換
- 第2回研修会：2024年10月1日
「目標管理」に関する講演会：師長
- 第3回研修会：2024年12月4日
十和田・三沢・七戸・野辺地：主任の情報共有、意見交換

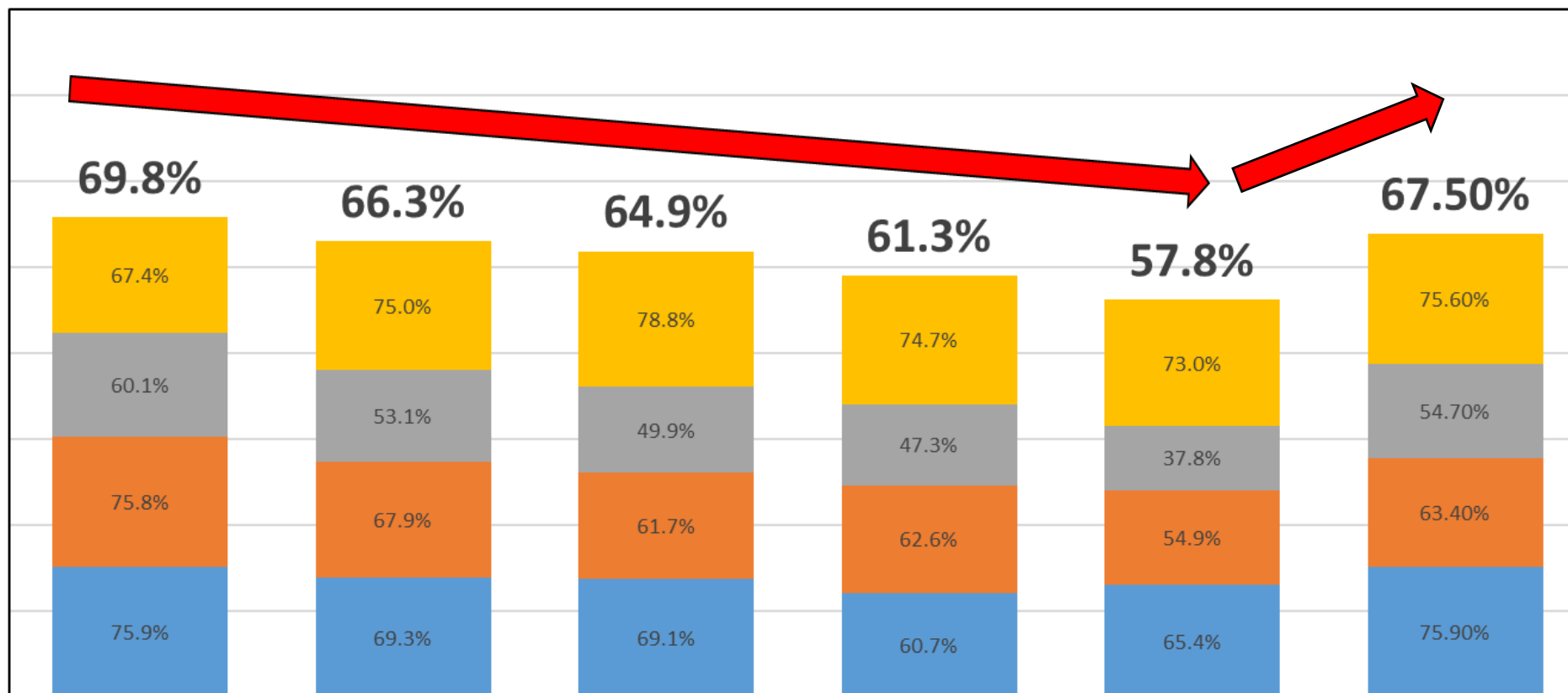


各病院の医師数の推移



各病院の病床利用率の推移

病床利用率（一般）



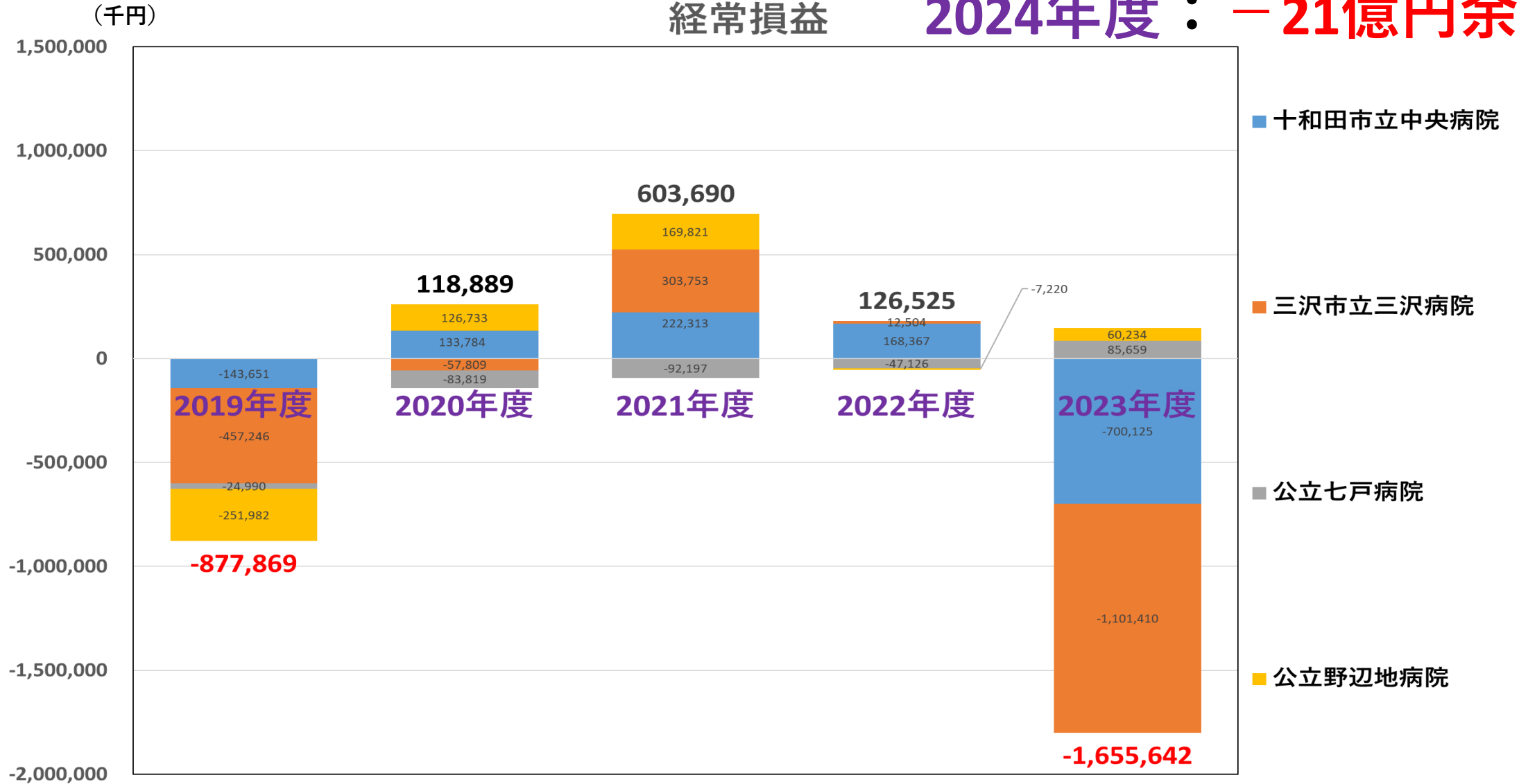
- 十和田市立中央病院
369床⇒323床
2025年1月～
- 三沢市立三沢病院
220床⇒198床
2025年4月～
- 公立七戸病院
110床⇒70床
2024年4月～
- 公立野辺地病院

平均

連結決算の状況

経常損益

2024年度：－21億円余り



ご当地医療構築のために

車の
両輪

地域包括ケア

医療と介護と生活の一体化

地域医療構想

機能分化と連携・統合

法人化

地域住民の皆さんの積極的な参加